

住宅火災・放火火災の実態の概要（令和2年中）

第1章 住宅火災の実態

※住宅火災の死者・負傷者は自損によるものを除く

住宅火災の件数

総火災件数、建物から出火した火災件数及び住宅火災件数は、過去10年間で増減はあるものの減少傾向で推移している。

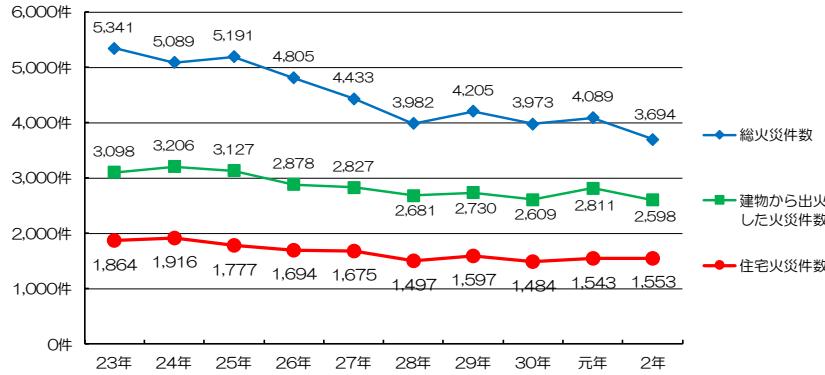


図 過去10年間の住宅火災件数等の推移

住宅火災の死者数

令和2年中、前年に比べ死者が12人減少している。過去5年間の高齢者の死者は7割前後と高い割合で推移している。

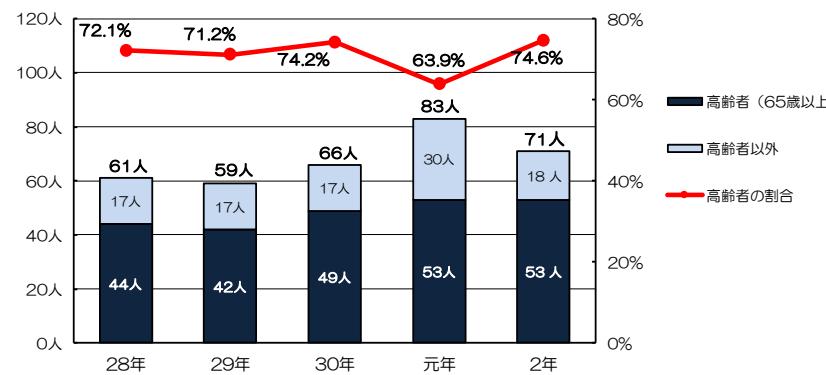


図 過去5年間の住宅火災の死者と高齢者の割合

住宅火災による死者の世帯構成

令和2年中、高齢者のみの世帯の割合は、前年より12.7%増加している。過去5年間の世帯別の死者は「高齢者一人暮らし」で最も多く発生している。

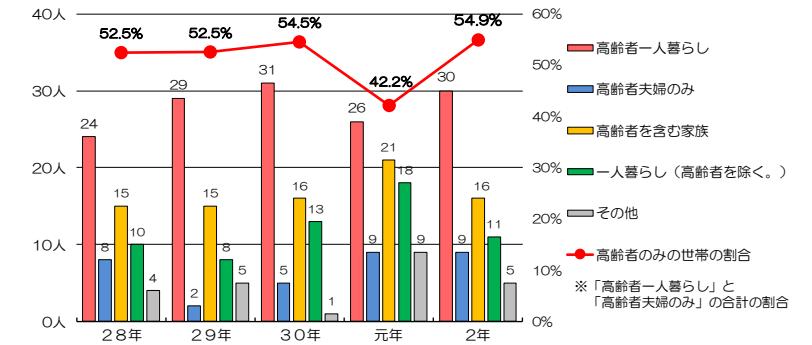


図 過去5年間の住宅火災の世帯別死者数

住宅火災の出火原因

住宅火災の出火原因は、「こんろ」によるものが最も多い。

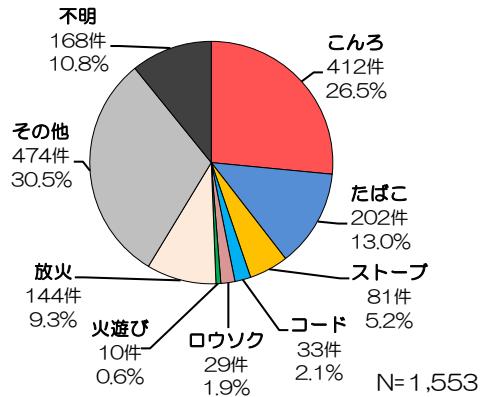


図 住宅火災の出火原因

死者が発生した住宅火災の出火原因

死者が発生した住宅火災の出火原因は、「たばこ」によるものが最も多い。

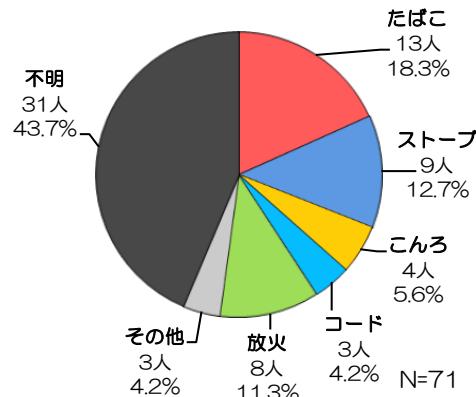


図 死者が発生した住宅火災の出火原因

死者が発生した住宅火災の主な出火原因の発生経過

主な出火原因の発生経過をみると、「たばこ」は寝たばこ等による火源の落下、「ストーブ」は可燃物の接触が最も多い。

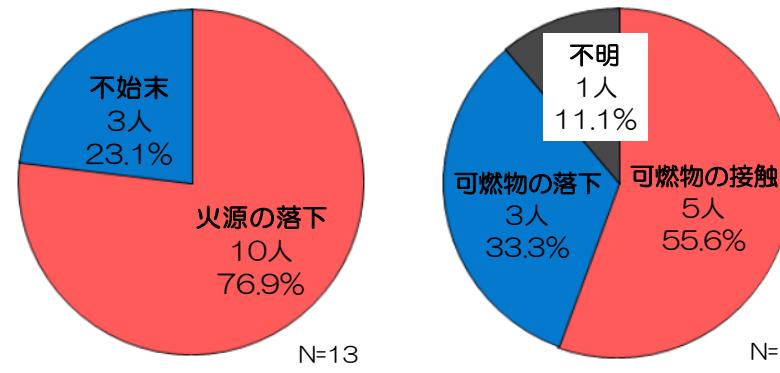


図 「たばこ」の発生経過

図 「ストーブ」の発生経過

負傷者が発生した住宅火災の出火原因

負傷者が発生した住宅火災の出火原因は、「こんろ」によるものが最も多い。

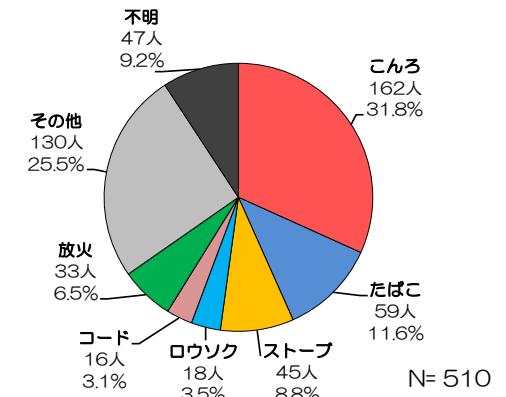


図 負傷者が発生した住宅火災の出火原因

住警器等設置状況別の死者数

火災が発生した住宅のうち約8割に住警器等が設置されているが、設置なしの住宅で多くの死者が発生している。

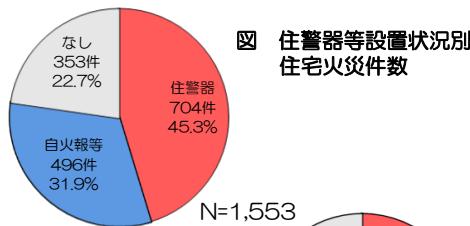


図 住警器等設置状況別住宅火災件数

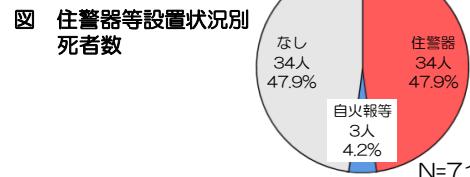


図 住警器等設置状況別死者数

住警器等設置状況別の比較

住警器等設置状況別に、火災100件あたりの死者件数、火災1件あたりの焼損床面積及び損害額を比較すると、住警器等の「設置あり」の方が被害が少ない。

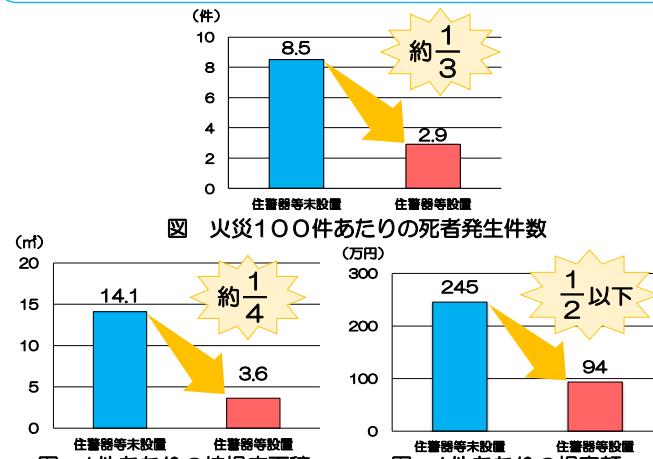


図 火災100件あたりの死者発生件数

図 1件あたりの焼損床面積

図 1件あたりの損害額

第2章 放火火災の実態

※住警器等は住警器及び自火報等設置ありの件数
死者発生件数は死者及び負傷者の両方は発生した件数を含む

放火火災の発生件数

放火火災の件数は減少傾向であり、平成28年から1,000件を下回っている。総火災件数に占める放火火災の発生件数の割合は、前年より微増となっている。

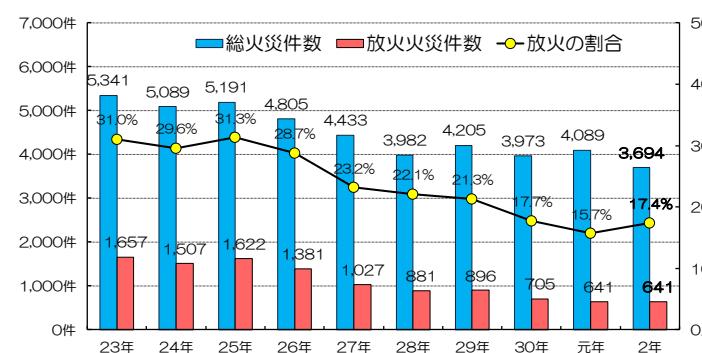


図 過去10年間の放火火災件数等の推移

放火火災の発生時間帯

時間帯別にみると、0時～5時台、22時～23時台の深夜帯で放火の割合が高くなっている。

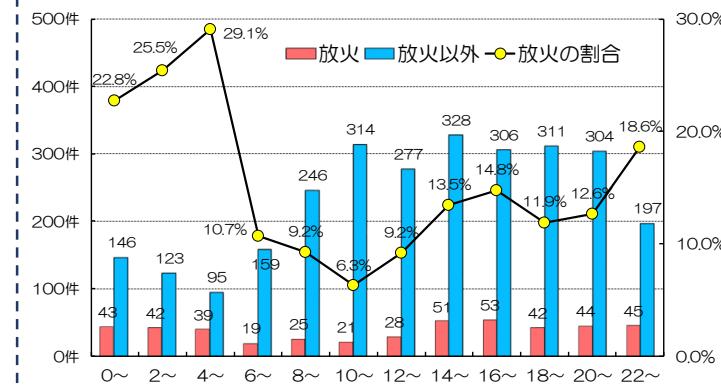


図 時間帯別放火火災発生状況